

自分の命と家族の命は 自ら守りましょう

自助

明るいうちに
安全な場所へ早めに
避難しましょう

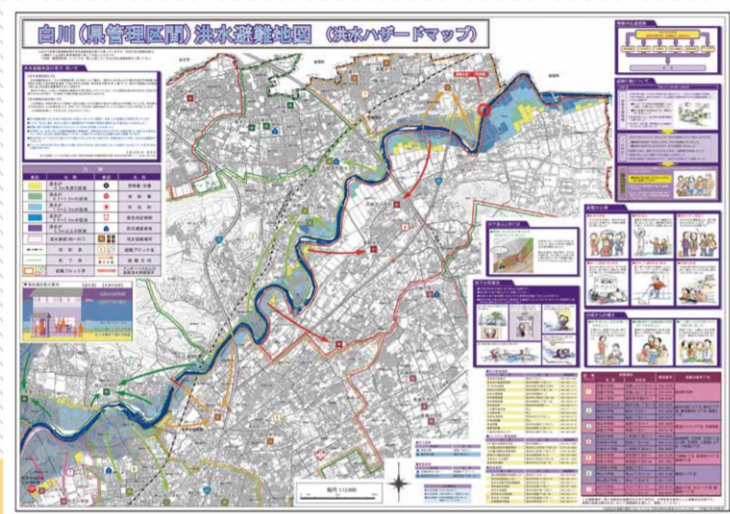
夜間や大雨時は、避難
できなくなる場合があります。本格的に雨が
降り出す前の、明るい
時間帯の「予防的避難」
を心掛けましょう。



げけ下や山すそに住んでいる方は特に土砂災害に注意。
次のような「前兆現象」に注意してください。
●異様な音がる ●小石が落ちてくる ●山鳴りや土臭いにおい
など

ハザードマップで
危険箇所や
避難経路を
確認しましょう

市町村が作成しているハザード
マップで、お住まいの地域の危険
箇所や避難経路をあらかじめ
確認しておきましょう。



ハザードマップは、風水害・地震・土砂災害など災害ごとに被害想定
区域や避難場所・避難経路などの防災情報を示したものです。

最低3日分の
水・食料を備蓄
しましょう



日頃利用している食料品や生活必需品を少し
多めに購入しておく「日常備蓄」なら、簡単に
無駄にならない備蓄ができます。

家具の固定は
今すぐできる
地震対策です



家具が転倒や移動しないよう、しっかり固定しておきましょう。
寝室は特に注意しましょう。

携帯電話やパソコンの
メールアドレスに
最新の大雨情報、避難勧告情報、
地震情報などが届くので、
登録しておくといいですね！

災害から身を守るため
メールサービスで
情報を収集

【登録方法】登録用ホームページにアクセス！



熊本県 防災ハンドブック 検索

熊本県 防災情報メール 検索

共助

災害時に隣同士の住民が 助け合う地域を目指す

「自分たちの地域は
自分たちで守る」ための
自主防災組織



▲益城町の広安小学校区自主防災クラブの皆さん

甚大な被害を受けた益城町
だからこそ、防災の意識を
広めたい。地域のつながり
を大切にしながら、「楽しみ
ながら備える」ことを伝えて
いきたいと思っています。

“避難所初動運営キット”
の準備や連絡体制整備な
ど、もしもの時に備えてマ
ニュアル化を進めていま
す。また、地域のイベント
に参加して、防災に関心
を持ってもらう活動をし
ています。

さまざまな場で
防災・減災の
意識を広める
活動続ける防災士



自主防災組織の立ち上げや活動のアドバイスをしたり、
防災リーダーとして活動しているのが「防災士」の皆さん。各地
域で訓練や勉強会、「避難所運営ゲーム(HUG)」などによ
る地域防災の啓発活動を行っています。



▲NPO法人日本防災士会・熊本県支部で活動する
防災士の山本惣一郎さん

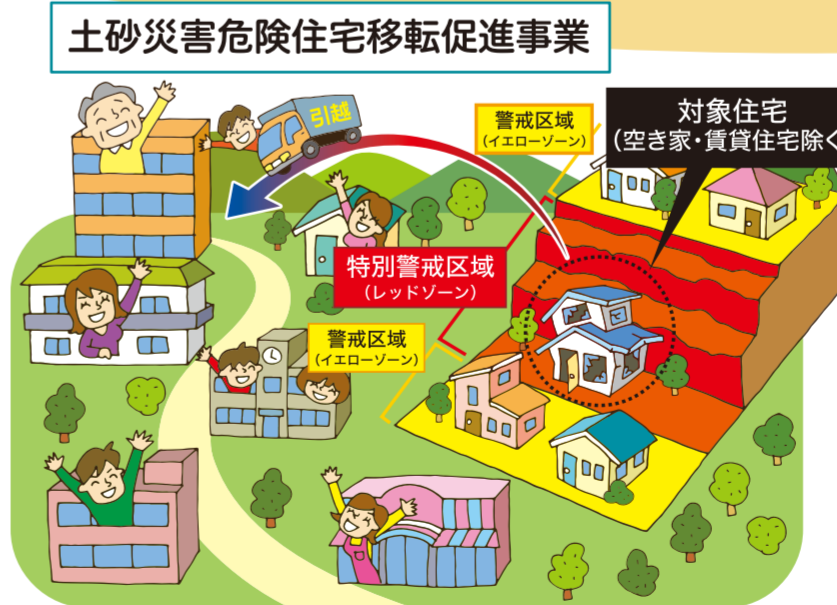
防災・減災には「自助・
共助」が重要。家庭、企
業、団体などで防災に関
する知識を修得し、行動
に移すことが大切です。
それぞれの団体に合っ
た防災対応をアドバイ
スしていきたいですね。

梅雨前線の活動が活発になると、
災害が発生する危険性が高まります。
今こそ、防災について改めて考えましょう。
県では、「自助」「共助」「公助」の
強化に取り組んでいます。

公助

大切な命を守るための制度を積極的に活用しましょう

土砂災害の心配のない
安全・安心な暮らしを
実現！



レッドゾーンから安全な地域(イエローゾーン外)への住宅移転を支援します。

- 補助の対象/住宅の建設・購入費など(上限300万円)
 - 一定の条件を満たせば、国の既存制度と併せて最大1,100万円の補助が可能
 - 熊本地震により被災された方(被災者生活再建支援制度の受給対象者)も支援の対象
- ご自宅やご家族のお住まいがレッドゾーン内かどうかは、インターネットなどで「土砂災害情報マップ」を確認！

熊本県 住宅移転 検索 【お問い合わせ】熊本県砂防課 ☎096-333-2553

住宅耐震化支援

住宅の地震に対する安全性を耐震診断士が
目視および図面などで診断しています(一般診断)。

診断士が調査を
行います！



- 対象住宅/戸建て木造住宅(昭和56年5月末以前
に着工または熊本地震によって被災したもの)
 - 対象者/住宅の所有者
 - 費用/図面がある場合 5,500円/図面がない場合 19,000円
 - 受け付け/窓口 奇数月(土日祝除く)/郵便 随時受け付け中
- 【お問い合わせ・お申し込み】
熊本市以外:(一財)熊本県建築住宅センター ☎096-385-0771
※診断後の耐震改修工事などについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。
※熊本市在住の方は、別の支援制度がありますので、熊本市にお問い合わせください。
熊本市建築政策課 ☎096-328-2449

熊本県 住宅耐震化支援 検索